

# 買ってもらえる米づくり'11

第10号(平成23年9月2日発行)

県南農林事務所経営・普及部門

## ○台風対策について

大型で勢力の強い台風12号が接近しており、大雨や強風のおそれがありますので十分に注意しましょう。今年の場合は排水機能が低下していたり、土砂災害のおそれが高まっていることも考えられますので、作業の安全を第一として対応して下さい。

**事前対策を万全に!!**

**用排水路の点検・整備!!**

## ○事前対策

用排水路の詰まり等の点検・補修を行い、冠浸水時の速やかな排水に備えて、ゴミ等を取り除いておきます。

## ○事後対策

- ・水田に入った水は速やかに排水します。
- ・落水時期に達していない水田では排水後は間断かんがいを励行します。
- ・成熟期に達している水稲は、倒伏の如何に関わらず収穫可能な水分条件になったら速やかに収穫します。また、成熟期前で冠水した水稲や倒伏程度のひどい部分については、収穫時に刈り分けを行い、品質低下を防止します。
- ・倒伏した水稲は、成熟や籾水分が不揃いで、多くは高水分籾です。すぐに加温乾燥をせずに、通風のみを行い、全体の籾水分を均一にしてから、乾燥を行います。乾燥温度40℃以下、適正な毎時乾減率(0.6%/時間)を維持します。また、青米、茶米、死米、石の混入等が多いので、調製を十分に行います。